

グローバル自動車産業の地域的な発展 ーアセアンと EU を中心に

Holger BUNGSCHE

（関西学院大学国際学部教授）

1. 地域的な経済統合と自動車産業の発展

自動車産業はグローバル産業であると良くいわれている。しかし、過去の25年間のGERPISAの研究結果を見ると、自動車産業の発展は地域によって大きく異なり、各自動車メーカーは独特な発展の経路を進んでいることが明らかになった¹⁾。

この背景の前、本講演会は地域の経済統合は自動車産業にどのような影響を及ぼすか、地域的な自動車産業の成り立つにどのようなふうに関与しているかという観点からEUとアセアンの経済統合を比較し、各地域の自動車産業の発展と現状を説明する目的がある。

2. EUとアセアンにおける自動車産業

2015年にアセアン諸国はアセアン経済共同体を設立した。(AEC)アセアン経済共同体の主な目標は単一市場と共通生産ベースをつくることである。

自由貿易協定またはEUの場合、経済共同体が創立される前に、自動車産業は生産効率性を上げる為に地域または国境を超える規模の生産ネットワークの確立に力を入れる。

アセアンを見ると、従来から日本自動車メーカーは規模経済を達成する為に関税障壁と非関税障壁を撤廃するようにアセアン諸国に求めた。その上、環境に優しいエコカーまたは電気自動車の開発へのプレッシャーもアセアン諸国で高まっていく。既にマレーシアとタイはエコカー政策を実施し始めている。上記の要因により今後、アセアン諸国の経済と市場の統合も発展すると予想される。アセアン経済共同体が目標としている単一市場と共通生産ベースが実現できるか次第で、アセアン自動車産業は今後、世界の新しい有力な自動車生産拠点となるかが決まる。

しかし、アセアン諸国の市場統合はあまり進まず、タイ、マレーシア、インドネシアなどはそれぞれの国で国内向けの自動車政策を行っていた。その結果、アセアン諸国の自動車産業と自動車市場はばらつきを見せた。例えば自動車生産と販売を見ると、タイでの生産、販売台数が最も多い自動車は1トンのピックアップトラックである。それに対し、マレーシアの自動車市場では小型と中型の乗用車、インドネシアでは比較的低価格なMPVの自動車の生産販売が最も大きなシェアを占めている。アセアンの経済と市場まだあまり統合されていない事実ですが、他方では各国の生産と販売台数を見ると、生産台数と販売台数と大きな格差がなく、バランス良く生産と販売が発展している。

EUを例に挙げると、EUは2004年と2007年に中東欧諸国へと拡大した。しかし拡大の前、言い換えれば、中東欧諸国の社会主義経済システムが破滅した直後から自動車産業はチェコ、スロバキア、ポーランド、ハンガリーを始め、中東欧諸国へ早い段階から多額の投資をし始めた。西欧の自動車と自動車部品メーカーをはじめ、日本、韓国、アメリカの自動車企業の投資により、25年間で中東欧諸国は

1) GERPISAは1992年にパリで創立された自動車産業を幅広く研究しているグローバル研究ネットワークである。

ヨーロッパの自動車と自動車部品の一つの生産の中心となった。ヨーロッパの生産台数を見ると、今では四分の一以上の自動車の中東欧諸国で生産されている。しかし自動車よりも、自動車部品の生産量を占める割合のほうが高い。なぜなら、世界の多くの自動車部品メーカーは低い賃金コストの為、自動車部品やコンポーネントなどの労働集約の生産を中東欧諸国へ移動させたからである。中東欧諸国は外国直接投資に基づき、生産拠点として発展してきたが、他方では自動車市場の発展は大きく遅れている。この EU における経済のアンバランスは 2008 年の世界同時経済不況とユーロ危機に大きな問題をもたらした。EU 諸国は勝ち組と負け組に分けるようになった。

3. EU とアセアンの経済統合と今後の自動車産業

ヨーロッパの統合のモデルと、アセアンの統合のモデルは共に、色々な挑戦に直面している。EU における今後の最も大きな挑戦は、ヨーロッパの自動車メーカーの競争力を確保しながら、中東欧諸国の購買力と生活水準を向上させ、西欧との格差を無くすことである。ということはつまり、今後の中東諸国は生産拠点だけではなく、市場としても発展すべきである。

アセアン諸国における、最も大きな挑戦は東南アジア諸国の経済をより深く統合することである。今までの産業別の協力を支えるアプローチはあまり効果的ではなかったため、共通の生産ベースをつくるよりも、AEC の条約に決定されているように、長期的にアセアンでも単一市場を実現することが必要であると思われる。そうでなければ、外国直接投資を受け入れるというアセアン諸国の最も魅力的なインセンティブを果たすことができない。この魅力的なインセンティブとは、中国の約半分の市場、つまり 6 億人以上の市場ということである。

キーワード：自動車産業、欧州連合、アセアン、地域的な経済統合、経済共同体